

浸水被害低減効果一覧

令和8年5月14日 大雨警報（浸水害）

下水道施設名	行政区	排水方式	施設容量 (m <sup>3</sup> )	貯留量 (m <sup>3</sup> )	貯留率 (%)
⑥ 蒔田雨水調整池	南		22,000	1,700	8%
⑦ 江川雨水調整池	都筑		17,000	130	1%
⑧ たちばなの丘雨水調整池	旭		7,000	1,650	24%
⑨ 金井雨水調整池	栄		6,000	1,470	25%
⑩ 長津田地区東雨水調整池	緑		54,000	4,980	9%
⑪ 長津田地区西雨水調整池	緑		19,000	1,290	7%
⑫ 相沢雨水調整池	瀬谷		56,000	2,130	4%
⑬ 北綱島第二雨水幹線	港北		72,000	70	0%
⑭ 獅子ヶ谷雨水幹線	鶴見		6,500	20	0%
⑮ 戸部雨水幹線	西		11,000	490	4%
⑰ 初音雨水幹線	南		7,500	150	2%
⑱ 二俣川1号雨水幹線	旭		13,000	140	1%
合 計			1,227,700	15,250	—

河川施設名	行政区	排水方式	施設容量 (m <sup>3</sup> )	貯留量 (m <sup>3</sup> )	貯留率 (%)
① 鳥山川遊水地	神奈川	ポンプ排水	44,000	160	0%
③ 今井川地下調節池	保土ヶ谷	ポンプ排水	178,000	27,260	15%
④ 舞岡川遊水地	戸塚	ポンプ排水	55,200	7,807	14%
⑤ 宇田川遊水地	戸塚	ポンプ排水	65,000	12,050	19%
⑧ 平戸永谷川遊水地	港南		37,900	37,900	100%
⑨ 名瀬川遊水地	戸塚		29,400	350	1%
⑩ 阿久和川遊水地	瀬谷		27,900	1,739	6%
合 計			632,950	87,266	—

総 計			1,860,650	102,516	—
-----	--	--	-----------	---------	---

25mプールで換算： **274** 杯分を貯留

※25mプール容量イメージ：幅15m×深さ1m×長さ25m=375m<sup>3</sup>

- 1 ポンプ排水方式の下水道施設については、最下流のポンプ施設による吐出量を集計した値を記載しています。  
また、ポンプ排水を行いながら貯留しているため、貯留容量を超える値になる場合があります。  
ポンプ排水方式の河川施設については、対象期間内に排水作業を実施し、複数回貯留した場合は、行を分けて記載します。
- 2 その他の排水方式については、ピーク水位の計測結果から算出した貯留量を記載しています。  
※上記1、2の算出方法による値のため、浸水被害低減量は参考値です。
- 3 貯留実績があった施設のみ貯留量を記載しています。